

## 沖縄への修学旅行生の学習をサポートする学習材「沖縄おうらい」

加藤真由美（岐阜女子大学）

### 1. 全国の地域資料の収集

本学では、2000年ごろから多くの方々の協力・支援により北海道から沖縄県までの地域資料のデジタル収集を進めてきた。沖縄県内においては世界遺産、伝統文化、生活文化（衣食住）、自然、産業、平和学習などの地域資料をデジタル化し、結果約2万件におよぶ映像素材を本学沖縄サテライト校に保管し、現在も収集作業を行いながら多様な教育研究資料として活用している。

### 2. 「沖縄おうらい」の資料の構成



図2 冊子とWEBの連携

保管している地域資料から沖縄県を修学旅行で訪れる高校生の事前・事後学習、現地学習に活用できる資料を選定し、学習材「沖縄おうらい」を開発した。「沖縄おうらい」は冊子とWebページで構成しており、冊子に掲載しているQRコードをタブレット端末やスマートフォンで読みとることにより、リンクしているWebページを閲覧できる。

また、沖縄を訪れる高校生が、平和学習だけでなく、沖縄の多様な文化・歴史・自然についても興味をもって学習できるよう、資料を以下の8つのカテゴリーに分類している。

- |          |            |            |            |
|----------|------------|------------|------------|
| 1. 沖縄の観光 | 2. 平和への願い  | 3. 沖縄の世界遺産 | 4. 沖縄の生活文化 |
| 5. 沖縄の自然 | 6. 沖縄の伝統文化 | 7. 沖縄の産業   | 8. 沖縄の離島   |

### 3. 「沖縄おうらい」という名称

昔から沖縄（琉球）は東南アジアの交易の中心地のひとつであった。「チャンプルー文化（ごちやまぜ文化）」ともいわれる沖縄の文化は、多様な「ひと」「もの」「こと」の往き来（往来；おうらい）のなかで育まれた。また、平安時代から寺子屋などの学習する場において、今でいう教科書を「往来物」（おうらいもの）とよんでいた。これらのことから普段学ぶ日本史の教科書とは違う歴史を歩んできた「沖縄独自の文化を知る教科書」となるよう、学習材の名称を「おうらい」とした。



図1 沖縄県の地域資料収集する学生の様子 [2004年] (左) 首里城 (中) 座喜味城跡 (右) 三線の収録

#### 4. 「沖縄おうらい」の利活用の実際とフィードバック

「沖縄おうらい」は2010年から試作をはじめ、2011年から希望する高等学校へ配布をはじめた。毎年1万冊以上が活用され、初版から累計100,000冊以上が活用されている。

この間、活用していただいた高等学校の教員に任意でお願いしたアンケート結果・意見（フィードバック）をもとに毎年改版してきた。また、高校生からのリクエストで新たにコンテンツを追加したり、修学旅行の際に現地で高校生が撮影した静止画を提供いただき、著作権処理後追加したりしている。フィードバックをとおして、利用者が「沖縄おうらい」の開発に関わっているといえる。

#### 5. 「沖縄おうらい」の資料の著作権

「沖縄おうらい」には「学校教育のための非営利目的利用」OKマーク（文化庁）を掲載している。これは「学校の様々な活動で使うことを目的とする場合に限り、コピー、送信、配布など、あらゆる非営利目的利用を認めるマーク」（変更、改変、加工、切除、部分利用、要約、翻訳、変形、脚色、翻案なども含む）であり、高校生が「沖縄おうらい」内のデジタルデータを、修学旅行の事前学習のしおりや新聞作成、事後学習としてのまとめ等に自由に活用できる。

#### 6. 「沖縄おうらい」の活用事例

利用者のフィードバックから「沖縄おうらい」の活用事例の①～⑥を紹介する。

活用事例には③④のように教科内で活用されたり、⑤のように思わぬ活用事例もある。また⑥の実際を示した図6は平成29年度のH高校の活用事例である。「沖縄おうらい」Webページからデジタル資料を活用し事前学習として各班で新聞を作成している。

GIGAスクール構想が進められている現在、高校生が事前・事後学習で活用できるデジタル資料の提供を増やすことで、「沖縄おうらい」の名称に込めた思いに加え、高校生の情報活用能力の向上に少しでもつながることを望む。

- 活用事例①** 平和学習やタクシー研修の行程作成に活用
- 活用事例②** 研修地調べに活用
- 活用事例③** 家庭科で掲載されていたレシピを活用
- 活用事例④** 社会科で掲載されていた琉球史・日本史対照表を活用
- 活用事例⑤** クイズに活用（旅行委員が「沖縄おうらい」からクイズを作成しLHRを利用して「沖縄おうらい」を見ながら回答）
- 活用事例⑥** 新聞作成に活用

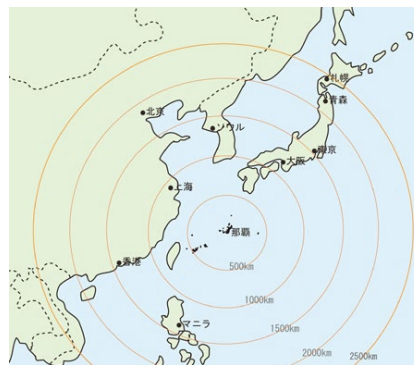



図3 沖縄県を中心にした地図

**column!!**      ハーリー



ハーリーは、沖縄県内各地の海や漁港で行われる船（はりゆうせん）競漕やその行事。地域によって「ハーリー」「ハーレー」など呼び名は異なります。沖縄では「ハーリー競が鳴ると梅雨が明ける」といわれ、本格的な夏の訪れを告げる行事とされています。

伝統的に梅雨明け時期でもある旧暦の5月4日に行うところが多いですが、旧暦6月の豊年祭の頃やゴールデンウィークなどの休日を利用して開催する地域もあります。海の神事として、気候息災、航海安全、豊漁などを祈願する競漕のほか、舟を故意に転覆させて再び乗り込んで漕ぎ出す操船技術を競うもの、職域対抗や学校対抗で競い合うレースなど地域によって祭の内容も様々。岸上でのガトー（応援合戦）なども見どころの一つです。

**改善点など**  
 ・タクシー研修のモデルコースなどがあると、高校の修学旅行には助かります。  
 （生徒は国際通りやアメリカンビレッジでの買い物が多く、文化、自然、歴史にもっと興味を持ってほしい）  
 ・コラムなど、生徒が読みやすいものがあると興味により湧くのではないかと思います。

図4 「コラムなど、生徒が読みやすいものがあると興味により湧くのではないか」というフィードバックから追加したコラム「ハーリー」



利用の際は必ず下記サイトを確認下さい。  
**学校教育OK** [www.bunka.go.jp/jiyuriyo](http://www.bunka.go.jp/jiyuriyo)

図5 「学校教育のための非営利目的利用」OKマーク（文化庁「自由利用マークとは？」  
<https://www.bunka.go.jp/jiyuriyo/pamphlet.html>）



図6 活用事例⑥の実際